J A 御中 (営農担当部署)

> 福岡県米・麦・大豆づくり推進協議会 (事務局: JA福岡中央会 担い手・営農サポートセンター) (公 印 省 略)

営農情報21

高品質な麦生産に向けた今後の管理について

本年の麦は、生育期間中の高温の影響により出穂期が著しく早くなると予想されます。 また、雨が多いため、排水溝の溝さらえ及び排水口の整備を行うなど、**排水対策を徹底 することが重要です**。

今後、「赤かび病防除」や「穂揃期追肥」のような麦の品質を大きく左右する重要な管理作業があります。特に、本年は播種時期やほ場の排水性の良し悪しにより、麦の生育が大きく異なっているため、生育に応じた適期作業の徹底をお願いします。

1 生育予測(参考)

■リアルタイムアメダスを用いた小麦の発育ステージ予測(※「ムギ 発育 予測」で検索。) http://www.naro.affrc.go.jp/org/warc/meteo_fukuyama/WEB/wheat/1/82_mugi.html

■品種:チクゴイズミ 地点名:太宰府

播種日	茎立日	出穂期	開花期	成熟期
2019年11月20日	2月12日	3月26日	4月12日	5月24日
(平年値)	(2月25日)	(4月9日)	(4月23日)	(5月30日)

■品種:ミナミノカオリ 地点名:太宰府

播種日	茎立日	出穂期	開花期	成熟期
2019年11月20日	1月29日	3月29日	4月14日	5月26日
(平年値)	(2月16日)	(4月10日)	(4月22日)	(5月31日)

※予測に用いた気温は、2020年3月15日までは観測値、3月29日までは予報値、 その後は平年値。予測情報には誤差があるので、あくまで参考として下さい。

2 麦種別の赤かび病防除適期

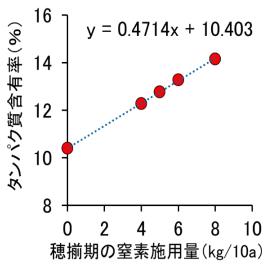
- ▶ 小麦、はだか麦:開花期(出穂後7~10日頃)~開花最盛期
- 二条大麦:穂揃期の約10日後(出穂後12~14日頃、葯殻が抽出する時期)※3月中に出穂した場合、一般に出穂期から開花期・葯殻抽出期までの期間が長くなるため、生育状況を確認。
 - ※晩霜により不稔を生じた場合、赤かび病が発生しやすくなるため、要注意。
- ※「ラー麦(ちくしW2号)」、「ミナミノカオリ」、「はるか二条」、「イチバンボシ」、「くすもち二条」は、赤かび病に弱いため、必ず2回防除を行う。
- ※その他の品種についても、防除実施後に降雨や曇天が続き多発が予想される場合は、1回目の 7~10日後に2回目の防除を行う。

3 穂揃期追肥

- 「ラー麦(ちくしW 2 号)」、「ミナミノカオリ」は、目標タンパク質含有率 1 2 % を 達成するよう、**穂揃期追肥を確実に実施する(窒素成分で 5 kg/10a)**。
- ・穂揃期追肥の効果が高い時期は、穂揃期(出穂後2~4日頃)~穂揃期後7日。
- ・なお、葉面散布を行う場合は、高温時を避け、開花期と開花期後7日頃に2回、それぞれ窒素成分で2.5kg/10aを施用する。
- 毎年タンパク質含有率が低いほ場や、2 追を減量または省略したほ場等では、以下の対策をとる。

品種	対策	目標 タンパク質含有率
日本めん用小麦 (シロガネコムギ・チクゴイズミ・ニシホナミ)	 穂揃期追肥(窒素成分2kg程度)を実施。 	10.0%以上
パン・中華めん用小麦 (ちくしW2号・ミナミノカオリ)	穂揃期追肥の施肥量を増やす。 (目安として、窒素成分1kg増量で タンパク質含有率は0.5%向上する)	12. 0%以上

(※葉面散布の場合、濃度が濃くなると葉が焼けるため、追肥の増量はしない。)



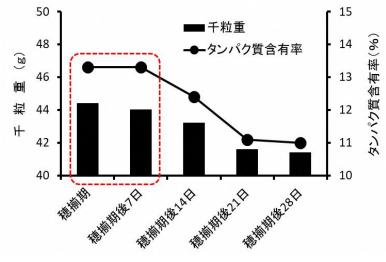


図 穂揃期の窒素施用量とタンパク 質含有率 (筑後分場)

図 穂揃期追肥の施用時期別の千粒重、 タンパク質含有率(豊前分場)



- ≪出穂期、穂揃期の見方≫
- ○出穂とは、穂先が最上位葉の葉鞘から現れる現象
- ○出穂期とは、有効茎数の40~50%が出穂した日
- ○穂揃期とは、有効茎数の80~90%が出穂した日
- ※既に出穂したほ場では、出穂期~開花期までの日数 が通常の7~10日間以上に時間を要するため、出穂 期、穂揃期、開花期を確認し、作業を行いましょう。